

資料提供年月日	令和4年6月22日	
問い合わせ先	課名	保健管理課
	電話	直通 803-1251 内線 5751
担当者	職名・氏名	課長 森
	職名・氏名	課長補佐 藤田

広報連絡

1 件名 腸管出血性大腸菌感染症患者の発生について（1）

2 日時 発生 令和4年6月20日（月）
速報 令和4年6月22日（水）

3 患者数 1名（男、70代）

4 概要

(1) 経過

6月18日（土） 患者（備前保健所管内）は、腹痛及び血便の症状を呈したため、岡山市内医療機関（病院）を受診し、入院。

6月20日（月） 検査の結果、腸管出血性大腸菌（O157）によるペロ毒素産生が確認されたため、岡山市保健所に届出。

(2) その他

- ・患者は入院中だが、症状は軽症化している。
- ・感染源は不明。
- ・現在のところ散発事例と考えている。

5 参考（患者発生状況）

区分	令和4年1月1日から
岡山市	3人
県内（岡山市を除く。）	12人
県内合計	15人

（岡山市の前年同時期の発生状況：6人）

◎ 報道に際しては、患者等のプライバシーの保護について、特段の配慮をお願いします。

※ 腸管出血性大腸菌感染症を予防するために
手洗いの励行。（調理前、食事前、用便後）
十分な加熱。（75℃で1分間以上）
をお願いします。